

第15回CRIIESセミナー

南海トラフ 巨大地震に備える

～対策はどこまで進んでいるか～



参加費
無料

開催
日時

2025年
10/10 (金)
13:00-17:00

開催形式

オンライン開催
(名古屋大学より配信)



主催

一般社団法人 社会基盤技術評価支援機構・中部

後援

国土交通省中部地方整備局、愛知県、名古屋市、
(一社)中部地域づくり協会、(一社)パブリックサービス、
(公社)土木学会中部支部、(一社)日本建設業連合会中部支部、
(一社)建設コンサルタンツ協会中部支部、
(公社)日本コンクリート工学会中部支部

我が国では2011年に東日本大震災、2016年に熊本地震、2024年に能登半島地震と、近年、大きな地震が相次いで発生している。また、2024年8月に日向灘で発生した地震をきっかけとして、気象庁は初の「南海トラフ地震臨時情報」を発表した。南海トラフ巨大地震の発生がいつ起きてもおかしくない状況となっている。そこで、本セミナーでは、南海トラフ巨大地震に対する備えをテーマとする。特に、インフラ整備、電力・水道等のライフライン対策に着目し、現在、我が国ではどのような整備、対策が進められているのか、インフラによる防御の限界等について、各組織の代表者に講演していただく。その後、南海トラフ巨大地震に向けた課題等に関するディスカッションを行う。

● プログラム

13:00	開 会	司会 武田 健太 (名古屋工業大学助教)
13:00 - 13:05	開 会 換 拶	田辺 忠顕 (社会基盤技術評価支援機構・中部 代表理事)
13:05 - 13:55	講 演	「南海トラフ地震対策と防災庁」 福和 伸夫 氏 (名古屋大学名誉教授、あいち・なごや強靱化共創センター長)
14:00 - 14:40	講 演	「南海トラフ地震と大規模災害に備える中部地方の取り組み」 大島 常生 氏 (国土交通省中部地方整備局総括防災調整官)
14:40 - 14:55	(15分休憩)	
14:55 - 15:25	講 演	「巨大地震発生時の電力供給に関する備え」 川野 佳慶 氏 (中部電力(株)総務部防災グループ長)
15:30 - 16:00	講 演	「名古屋市水道事業の地震対策」 高倉 俊夫 氏 (名古屋市上下水道局技術本部建設部長)
16:00 - 16:15	(15分休憩)	
16:15 - 16:55	ディスカッション	コーディネーター 鈴木 温 (名城大学理工学部教授、社会基盤技術評価支援機構・中部 理事)
16:55 - 17:00	開 会 換 拶	内田 裕市 (社会基盤技術評価支援機構・中部 専務理事)



参加申込

お問い合わせ

機構HPの申込フォームからお申込みください。 <http://www.criies.jp/>

一般社団法人 社会基盤技術評価支援機構・中部 事務局
(名古屋大学大学院 工学研究科 土木工学専攻 准教授 三浦 泰人)

TEL 052-789-4635

E-mail t.miura@civil.nagoya-u.ac.jp

※なお、本セミナーは、土木学会認定CPD
(継続教育)プログラム(3.2単位)です。

講演者略歴

※講演順



福和 伸夫 氏

NOBUO
FUKUWA

名古屋大学名誉教授、あいち・なごや強靱化共創センター長。
専門は建築耐震工学、地震工学。

名古屋大学大学院修了後、民間建設会社の研究室を経て、名古屋大学に異動。建築学科助教授、先端技術共同研究センター教授、環境学研究科教授、減災連携研究センター教授を経て現職。複数の大学の特任教授、客員教授を務めつつ、国や自治体の防災対策や地域の防災・減災活動を実践。この1年間は、能登半島地震の検証、南海トラフ地震対策、防災庁の設置、船舶を活用した医療などの国の検討のとりまとめに注力。国土形成計画や国土強靱化、地震調査研究などにも取り組む。防災功労者内閣総理大臣表彰、文部科学大臣表彰科学技術賞、気象庁長官表彰などを受けると共に、日本建築学会賞、同教育賞、同著作賞などを受賞。



大島 常生 氏

TSUNEO
OSHIMA

国土交通省 中部地方整備局 総括防災調整官。

名古屋市生まれ。国立豊田工業高等専門学校 土木工学科卒業後、1986年 建設省中部地方建設局に入省。国土交通省中部地方整備局 浜松河川国道事務所 副所長、岐阜国道事務所副所長にて道路整備、春日井市まちづくり推進部長、中部地方整備局建政部 都市整備課長にてまちづくり施策、企画部 事業調整官にて国土形成計画 中部圏広域地方計画の検討、中部道路メンテナンスセンター長にて道路の維持管理施策を担当し、2025年4月より現職。



川野 佳慶 氏

YOSHINORI
KAWANO

中部電力(株)総務部 防災グループ長。愛知県豊橋市生まれ。

1994年中部電力(株)入社。水力発電所・変電所の現場技術者として従事。2013年(株)シーテック出向、2015年東京支社では、非常災害・大規模停電発生時における官庁対応業務に従事。2018年送変電部変電グループでは、2018年台風21号(延べ停電戸数84.7万戸 最大停電時間6日と12時間)、台風24号(延べ停電戸数119.1万戸 最大停電時間5日と20時間)、2019年台風15号(東京電力へのプッシュ型応援 当社グループから延べ3,211名が被災地での復旧支援活動に従事)、および2019年台風19号(千曲川氾濫による変電所浸水 延べ停電戸数14.3万戸 最大停電時間5日と7時間)の災害復旧対応を経験。2020年浜松電力センター所長を経て、2023年より現職。



高倉 俊夫 氏

TOSHIO
TAKAKURA

名古屋市上下水道局技術本部建設部長。

1986年、名古屋市役所(土木技師)入庁。水道局営業所、配水事務所等を経て、設計業務、水資源政策、防災業務に従事。2019年に防災危機管理局危機管理企画室長、2023年に上下水道局計画部水道計画課長、2025年から現職。阪神淡路大震災(1995)では、第2次応急復旧隊として神戸市東灘区で応急復旧活動に従事。能登・中越沖(2007)、東日本(2011)では、上下水道局防災担当として応援隊の後方支援業務に従事。現在は名古屋市の水道、下水道の基幹施設(浄水場や下水処理場、ポンプ所など)の設計、施工管理部署を統括。